

The 21st Kyoto Autumn Music Festival / Culture City of East Asia 2017 Kyoto
The Great Discovery of East Asian Music with
Kyoto Symphony Orchestra

第21回京都の秋 音楽祭 東アジア文化都市2017京都

京都市交響楽団 *meets* 珠玉の東アジア

東アジアの鼓動が鳴り響く
——日中韓、
音楽の祭典

第1部

チェ・ソンファン:
管弦楽曲「アリラン」

최성환 : 관현악곡 《아리랑》
Seonghwan CHOI:
Arirang

リユー・ツェシャン／マオ・ユアン:
瑶族舞曲

刘铁山／茅沅：瑶族舞曲
Tieshan LIU / Yuan MAO:
Dance of the Yao People

外山雄三:
管弦楽のためのラブソディー

Yuzo TOYAMA:
Rhapsody for Orchestra



[指揮] 広上淳一
Junichi HIROKAMI, Conductor

第2部

ビゼー: 歌劇「カルメン」<演奏会形式(ダイジェスト版)・ナレーション付>

Georges BIZET: Excerpts from *Carmen* (Concert Version with narration)



©井村重人

池田香織
(カルメン:メゾ・ソプラノ)
Kaori IKEDA
(Carmen: Mezzo-Soprano)



ユン・ビョンギル
(ドン・ホセ:テノール)
Byung-Kil YOON
(Don José: Tenor)



ジョン・ハオ
(エスカミルロ:バス)
Hao ZHONG
(Escamillo: Bass)



宮本益光
(構成・ナレーション)
Masumitsu MIYAMOTO
(Narrator)



チョン・ヨンオギ
(フラスキータ:ソプラノ)
Yong-Ok CHON
(Frasquita: Soprano)



谷口睦美
(メルセデス:メゾ・ソプラノ)
Mutsumi TANIGUCHI
(Mercédès: Mezzo-Soprano)



©伊藤菜々子

[管弦楽]
京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

[合唱]
京響コーラス Kyoto Symphony Chorus
京都市少年合唱団 Kyoto City Junior Children's Choir

2017年
11月5日[日]
14:30開演(13:30開場)
京都コンサートホール 大ホール

(地下鉄烏丸線「北山」駅下車①③番出口南へ徒歩約5分)

Sunday, 5 November 2017, at 2:30 p.m.
in Kyoto Concert Hall Main Hall

チケット料金

全席指定 一般3,000円 *会員2,700円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引:2,700円
京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が
証明書等をご提示ください。

問合せ・予約

京都コンサートホール ☎075-711-3231

(10:00~17:00/第1・第3月曜休 ※休日の場合はその翌平日)

オンラインチケット購入 [京都コンサートホール](#) 検索

<http://www.kyotoconcerthall.org>

ロームシアター京都 ☎075-746-3201

(10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

ロームソングチケット ☎0570-000-407 (Lコード:54760)

チケット発売日

*会員先行 7月2日(日) / 一般発売 7月9日(日)

*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Clubと京響友の会の会員が対象。

※都合により内容等変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。[託児室あり/1歳以上/定員有/有料1,000円/
10月29日(日)までに予約075-711-2980]

日中韓の音楽と 広上淳一&京都市交響楽団、夢の響宴!

日中韓共同コンサート「京都市交響楽団 meets 珠玉の東アジア」は、まさに3ヶ国による「音楽の祭典」。京都コンサートホールを舞台に、広上淳一と京都市交響楽団の全面バックアップのもと、東アジアの熱い鼓動が鳴り響きます。

第1部は、日中韓のオーケストラ作品を演奏。各国の民謡が散りばめられた民族色溢れる三作品を、広上&京響がダイナミックに、かつ多彩な音色で奏でます。

第2部では、第一線で活躍する各国のソリストを招き、ビゼーの《カルメン》を演奏会形式で披露します。構成とナレーションを務めるのは、いま注目を浴びている多才なバリトン歌手、宮本益光です。広上&京響はもちろん、京響コーラスと京都市少年合唱団も加わり、ソリストたちの演奏に華を添えます。

「東アジア文化都市2017京都」ならではの、豪華絢爛な本公演。国や民族を超えた「唯一無二のハーモニー」は、我々の心に強く響きわたることでしょう。



「東アジア文化都市2017京都」とは

「東アジア文化都市」は、日中韓の3ヶ国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化芸術イベント等を実施するもの。東アジアの相互理解や連帯感の形成ならびに開催都市における文化発展を目指している。今年、中国の長沙市(ちやうさし)、韓国の大邱広域市(てくぐういきし)と共に、京都市が選ばれた。

池田 香織 (メゾ・ソプラノ)

Kaori IKEDA, Mezzo-Soprano

慶応義塾大学法学部を経て声楽家となる。二期会オペラスタジオ修了。二期会「カヴァレリア・ルスティカーナ」、日生劇場「ルル」等出演。新国立劇場にも、『愛怨』影巳でデビュー後、『ルサルカ』『魔笛』『パルジファル』等多数出演。近年、びわ湖ホール「死の都」ブリギッタ、『ラインの黄金』エルダ、新国立劇場「鹿鳴館」坂崎男爵夫人定子、『ラインの黄金』ヴェルグンデ、同鑑賞教室「蝶々夫人」スズキ等出演。16年二期会「トリスタンとイゾルデ」の難役イゾルデで高い評価を得た。コンサートでも、ヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、マーラー「復活」等で好評を博している。17年10月新国立劇場「神々の黄昏」に出演予定。二期会会員



©井村重人

ユン ビョンギル (テノール)

Byung-Kil YOON, Tenor

韓国ソウル出身。慶熙大学声楽科卒業。渡伊後、ファウスト・トルペフランコ国立音楽院、イタリアA.M.Iアカデミアオペラ課程修了。イタリアのルッジェーロ・レオンカヴァッロ国際コンクール特別賞、エンリコ・カラーソー国際コンクール2位、フランコ・コレリ協会より今年の特ノール賞を受賞、Vissid'arte 国際声楽コンクール1位及び特別賞の受賞等、多数の国際コンクールで入賞。イタリア各地で、歌劇「蝶々夫人」「イル・トロヴァトーレ」「道化師」「アイダ」「トスカ」等に出演。2011年から母国の韓国で、オペラ舞台を中心としてベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」のソリストとして活躍。アメリカ、オーストラリア、中国、日本世界各地で活躍し好評を得ている。現在、全南大学芸術大学音楽学科教授。



ジョン ハオ (バス)

Hao ZHONG, Bass

中国瀋陽出身。中国中央音楽学院卒業。東京藝術大学大学院修了。中国中央オペラハウス「フィガロの結婚」バルトロ、「トゥーランドット」ティムール等数多く出演。日本では、二期会「マクベス」バンコー、兵庫県立芸術文化センター「セビリアの理髪師」バジリオ、日生劇場「フィデリオ」ピツァロ等出演。14年二期会「ドン・カルロ」フィリッポ二世で絶賛を博した。さらに、いずみホール「魔笛」ザラストロ、「ドン・ジョヴァンニ」騎士長、びわ湖ホール「ラインの黄金」ファフナー等出演。コンサートでも、モーツァルト「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」等で活躍している。17年12月京都市交響楽団特別演奏会「第九コンサート」出演予定。二期会会員



広上淳一 (指揮)

Junichi HIROKAMI, Conductor

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学び、1984年キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝、以来、世界中のメジャーなオーケストラへ客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響の首席指揮者、ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、日本フィル正指揮者、コロンバス響音楽監督を歴任する傍ら、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、イスラエル・フィル、ウィーン響等に客演。2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。10シーズン目を迎えている。2017年4月より札幌交響楽団友情客演指揮者。

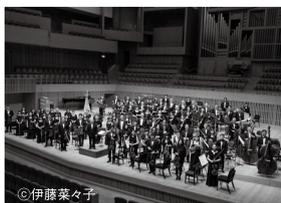


©Greg Sailor

京都市交響楽団 (管弦楽)

Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©伊藤菜々子

宮本 益光 (構成・ナレーション)

Masumitsu MIYAMOTO, Narrator

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号を取得。二期会「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールで一躍注目を集めて以後、同「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、新国立劇場「鹿鳴館」清原永之輔、「夜叉ヶ池」学円、日生劇場「メディア」イヤソン、「リア」オルバニー公爵、神奈川県民ホール「金閣寺」溝口、あいちトリエンナーレ「魔笛」パパゲーノ等話題の公演に出演。また、新日本語訳詞や字幕制作に取り組む等多彩な才能を発揮。CD「うたうたう 信長貴富歌曲集」(オクタヴィアレコード)、著書「宮本益光とオペラに行こう」(旬報社)も好評を博している。17年11月二期会「こうもり」ファルケで出演予定。聖徳大学准教授。二期会会員

